

令和5年度 県立つくば特別支援学校 自己評価表

目指す学校像	◆安心して生活できる安全な学校 ◆学ぶことが楽しい！みんなの笑顔が輝く学校 ◆保護者や地域社会とともに歩む開かれた学校		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領を踏まえ、学習内容を計画したことで、系統的・段階的な指導を計画することができた。今後も教育研修センターの校内支援等も活用するなど、指導技術を高めることが大切である。また、統合型校務支援システムの有効活用が課題である。 ・自立活動の指導については、外部専門家による研修等を各部で継続的に実施した。今後も教員の専門性を高める取組の一層の充実が課題である。 ・タブレット端末等を活用した実践が進んだ。継続して各授業における実践していくことが大切である。 	1 資質・能力を伸ばす指導・支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ①主体的・対話的で深い学びへの授業改善 ②外部専門家との連携による自立活動の充実 ③ICTを活用した教育の推進 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット事例を蓄積し、情報の整理や共有を実施。蓄積した情報共有を更に進め、職員の安全面への高い意識を持続させることが課題である。 ・防災については、感染対策を含めた災害時の避難を想定した物品や確認事項等の検討が課題である。 ・いじめや体罰については、児童生徒・保護者へのアンケートを実施し、トラブルに関する軽微な事案も校内で共有・検討することで、未然防止を図ることができた。児童生徒間のトラブルやいじめ、体罰を見逃さないように、職員の意識を高めることが課題である。 ・安全安心な教育環境・職場環境づくりを目指し、随時改善していく必要がある。また、オンラインでの会議やデータの共有化を引き続き行い、各活動に支障がないよう各職員が十分に情報共有し、引き続き業務改善に努めることが必要である。また、コンプライアンス研修を続け職員の意識の向上を図る。 	2 安全で安心な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ①学校事故の未然防止とより安全な校内指導体制の検討 ②いじめや体罰を見逃さず、安心して生活できる学校環境の構築 ③教育環境・職場環境の整備 	

<p>・地域資源を積極的に活用した学習活動を多く計画することができた。今後も系統的で計画的な活用をすることが課題である。進路に関する取り組みを進路だよりに掲載し、保護者に意識を向けてもらうことができた。さらに有効な情報発信の工夫と、教員が進路に関する知識を深めることが課題である。</p> <p>・美術作品の出品展示は、年間の参加計画を立て、児童生徒に活躍の場を提供することができた。コロナ後のスポーツ大会への参加や、それらの活動の情報発信が課題である</p>		3 自立と社会参加をめざす教育の充実	①児童生徒一人一人の将来を見据えたキャリア教育の推進			
<p>・ホームページは、各部が更新スケジュールを立て、児童生徒の学習や諸行事の様子を、随時発信することができた。さらに就学前の方が欲しい情報など、閲覧者のニーズに応えた情報発信をしていくのが課題である。</p> <p>・コロナ禍におけるPTA活動は、話し合いをオンラインにするなどの工夫がなされた。活動への負担軽減を図ると共に、新しい時代に応じた参加者が主体的に活動に参加できるよう工夫していくことが課題である。</p> <p>・通学区域の学校等の巡回相談の依頼には、つくば市特別支援教育推進室や関係機関と情報共有や連携を図りながら対応することができた。さらに各種交流やセンター的機能における、関係機関との連携を進めていく。</p>		4 家庭・地域との確かな連携	①特別支援教育の理解・推進を促す情報の公開と発信			
評価項目	具体的目標	具体的方策	重点目標との関連	評価	成果(○)、課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)	
学校経営 管理 教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 安全で安心な教育環境の整備 主体的・対話的で深い学びへの授業改善(ICT活用等含む) 	<ul style="list-style-type: none"> 管理職、教務主任・部主事の校内巡視等の実施 ヒヤリハット事例の迅速な共有 研修等の実施による指導力の向上 	2-①②③ 1-①②③			
教職員の 育成及び 指導・監督	<ul style="list-style-type: none"> 教職員が現状の改善案を提示し、改善する コンプライアンス意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 業務改善案について随時改善 コンプライアンス研修の実施 	2-①②③			
対外活動	<ul style="list-style-type: none"> 各種交流や地域のセンター的機能の充実と積極的な情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 各種交流の実施 巡回相談等における適切な助言 ホームページ等による情報発信の工夫(P TA活動含む)及び各種活動の情報発信 	4-①②③ 3-①②③			

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない